

資料 しまだエコ活動レポート

平成26年度に登録及び報告された「しまだエコ活動」を紹介します。なお、各活動については、市ホームページにも掲載しています。

島田市の循環型社会を考える会

◎活動名 島田市の循環型社会を考える会

●活動実績

平成26年度における島田市の循環型社会を考える会の主な活動は、小学生を対象とした環境教育、市民を対象とした環境セミナーと市民・団体・事業者を対象とした質問紙調査です。本会の活動は、島田市まちづくり支援事業交付金の助成により実施しました。

1 小学生を対象とした環境教育

プラザおおりを活動場所とし、小学生を対象とした環境教育の講座を2回実施しました。テーマは「安心して暮らせるまち -ユニバーサル・デザインとは-」と「島田市のよいところ -島田遺産を考える-」として、体験等を通じて環境教育について学習をしました。



アイマスクの装着による歩行体験



車いすによる移動体験

2 市民を対象とした環境セミナー

プラザおおりを活動場所とし、4回の活動を実施しました。

- ①「ファシリテーション入門（第1回環境人材育成講習）」
- ②「ワークショップ入門（第2回環境人材育成講習）」
- ③「環境活動と協働に関するパネル・ディスカッション」
- ④「アンケート調査結果（第1次集計）報告」

これらの活動のほか、活動の計画・運営などに関する本会メンバーによる打ち合わせ、活動案内文の作成と市民への周知、小学校への活動案内などを行いました。



ファシリテーション入門



パネル・ディスカッション
(パネラー報告)



パネル・ディスカッション
(全体討論)

3 市民・団体・事業者を対象とした環境に関するアンケート調査

平成 26 年 12 月、市民（小学校児童保護者）の方々、市内の団体および事業者を対象に質問紙調査を実施しました。この調査は、島田市まちづくり支援事業交付金の助成を受け、調査対象である保護者の方々のほか、島田市教育委員会、第一小学校、第二小学校、大津小学校、金谷小学校および六合小学校の協力を得て実施しました。これらについて、第 1 次集計（単純集計）のみについて報告会を開催しました。最終報告は平成 28 年 2 月に実施予定です。

①市民調査（配票数：1,149 枚 回収数：648 枚 回収率：56.4%）

「地域活動とごみの分別に関する意識調査」とし、無記名による留め置き法で調査。

主な調査項目は、ボランティア活動や生涯学習に対する意識と実態、ごみ分別、リサイクル、生ごみの再資源化およびフェイスシート。

②団体調査（配票数：19 枚 回収数：8 枚 回収率：42.1%）

「団体活動の協働に関する意識調査」とし、無記名による郵送調査。

主な調査項目は、地域の各主体（町内会、自治会、団体、事業者、学校および行政）との協働、人材育成、活動内容と今後の方向に対する意識と実態およびフェイスシート。

③事業者調査（配票数：79 枚 回収数：33 枚 回収率：41.8%）

「社会貢献活動の協働に関する意識調査」とし、無記名による郵送調査。

主な調査項目は、上記の団体調査とほぼ同様。



第 1 部 調査結果報告会



第 2 部 調査結果をテーマに討論会

NPO法人 しまだ環境ひろば

◎活動名 竹林の保全・管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、2箇所の放置竹林を果樹園や雑木林に再生し、将来は子どもたちを呼び込んで自然環境保全を目的とした環境教育の場にしようとしています。島田市の山手には、もろそうちく孟宗竹が増加し、森や茶畑・果樹園に侵入して荒廃させるばかりか、土砂崩れの危険も増しており、竹林整備が課題となっています。平成 26 年度の主な活動は、伊太八幡西竹林整備と伊太八倉町公会堂横の竹林整備を実施しました。

①伊太八幡西竹林整備



孟宗竹の切り出しの様子



休憩小屋の修復（竹の再利用）



管理道整備の様子



竹林全体の様子

②伊太八倉町公会堂横の竹林整備



丸太橋用の木材の切り出し



釜ヶ沢の谷川の丸太橋（未完成）

◎活動名 梅林の保全・管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、伊太・玉雲寺観音付近の手入れができなくなった梅林を、地主の了解の下で、剪定や下草刈りなどをして維持保全をしています。6月には果実を収穫して、会員や希望者に斡旋し、梅干・梅酒・梅シューズ作りなどを奨励しています。平成26年度の主な活動は、剪定・下草刈りと雨水溜め桶の作成を実施しました。



梅林全体の様子



雨水溜め桶の作成

◎活動名 御仮屋市民農園の開設と維持管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、市の支援を得て耕作放棄地を再生し、市民へ農業体験の場を提供しています。平成 26 年度の主な活動は、農園の運営・維持管理や農園参加者の募集などを実施しました。市民 25 名が思い思いの野菜や穀物を栽培しています。



農園の全景



参加者募集看板の設置



堆肥小屋設置



サトイモ畑



雑草箱



タンク設置

◎活動名 休耕田を利用した「コミュニティ農園」で地産地消

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、休耕田を再生して市民農園を開設し、「コミュニティ農園」と名付けて市民に農業体験の場を提供しています。面積は 350 坪あり、そのうち 70 坪を一区画 2 坪程度に区切って 20 区画用意して無料で貸与しています。残りの 280 坪は、共同区域として大豆やサツマイモなどを栽培・収穫して、社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」などで斡旋しています。平成 26 年度の主な活動は、大豆の移植や刈り取りなどを実施しました。



7月 大豆苗移植（3,500本）



苗を植える第一保育園児



11月 大豆の刈取り・脱穀作業



大豆の天日干し



サツマイモの苗（個人畑）



大根（個人畑）

◎活動名 小水力発電の研究と導入促進

●活動実績

地球温暖化による異常気象や異常現象が各地で勃発し、その原因である温室効果ガス排出量の削減のため、再生可能エネルギー（太陽光発電・小水力発電など）の創出が注目を浴びています。島田市は、日照時間の長さで大井川が育む豊富な用水路の水に恵まれ、「太陽光発電」と「小水力発電」は大きな可能性を秘めており、今後の創出が期待されます。

しまだ環境ひろばでは、特に「小水力発電」に着目して活動をしました。平成26年度の主な活動は、以下のとおりです。

①平成26年12月18日 「平成26年度第1回小水力技術セミナー」へ出席

「静岡県農業施設を活用した小水力等利用推進協議会」の正会員となり、同協議会の活動に精力的に出席し、意見具申してきました。また、同協議会を訪問し、最新情報の入手、知識の習得や島田市における小水力発電に関する相談などを行いました。

②「島田市ゆめ・みらい百人会議」の「環境・自然エネルギー分科会」に参加

しまだ環境ひろばから2名がエントリーをして、島田市で有力用水路を使用して小水力発電の創出をすべく活動しました。市民・行政による「島田市・小水力発電創出合同検討会」もスタートする予定です。



環境・自然エネルギー分科会



分科会の中間報告

③平成 26 年 5 月 8 日 「小水力発電に係る勉強会」の開催

島田市ゆめ・みらい百人会議と共催して総勢 11 名で開催しました。講師は、しまだ環境ひろばが担当し、県の協議会の資料やパワーポイントを使用して説明し、情報の共有化を実施しました。

④平成 26 年 6 月 27 日 しまだ環境ひろば塾「第 4 回しまだエコの郷と大井川用水見学会」開催

島田市ゆめ・みらい百人会議と共催して、大井川土地改良区にもご協力いただき、総勢 20 名で実施しました。川口発電所・神座分水口・水路橋・伊太小水力発電所・ソーラーパークしまだ・田代環境プラザバイオマス発電・小水力発電の有力候補の大井川用水路などを巡回し、知識を深めました。



伊太小水力発電所



小水力発電有力用水路

⑤平成 26 年 8 月 17 日 「静岡県・次世代エネルギーパークをめぐる見学会」への協力

静岡県主催の見学会に参加された県民 30 名ほどに、ソーラーパークしまだ・田代環境プラザ（バイオマス発電）・小水力発電所の案内を実施しました。



上記見学会（ソーラーパークしまだ）



下記視察会（実証実験、発電機）

⑥平成 26 年 7 月 12 日・9 月 18 日 「小水力発電装置 WS 型稼働状況の視察会」への参加

静岡中部金属開発協同組合が主催する小水力発電機の実証実験へ参加し、同組合技術員と懇談を実施しました。

⑦平成 26 年 10 月 18 日 「島田市暮らし・消費・環境展 2014」への出展

島田市ゆめ・みらい百人会議主催、しまだ環境ひろば共催でブースを構えて、「島田市小水力発電を自前で創出をしよう」をテーマに大看板を設置し、小水力発電プラモデルを出品して市民にアピールをしました。当日は、市民 520 名が参加し、賑やかな展示会となりました。



小水力発電出展ブース

⑧平成 26 年 11 月 6 日 島田市内小水力発電候補地の巡回の実施

市環境課と島田市内で小水力発電の候補地を数箇所巡回し、実施の可能性について検討しました。



市内向谷付近



市内三ツ合町付近

⑨平成 27 年 3 月 16 日 長泉町小水力発電システム（長泉ニコニコ水力 1 号機）の見学



水車式発電機（8kW）



発電設備

⑩平成 27 年 3 月 19 日 「島田市小水力発電創出合同検討会」の開催

市、島田市ゆめ・みらい百人会議、しまだ環境ひろばで会議を開催し、島田市の小水力発電システムの今後の進め方についての話し合いをしました。

◎活動名 市民の環境意識向上のための広報活動

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、「第 2 次島田市環境基本計画」に記載されている市民の取り組みを実行しています。その活動を市民の皆さんに知ってもらい、面の拡大を図るべく広報活動を大事にしています。平成 26 年度の主な活動は、以下のとおりです。

- ①平成 26 年 10 月 18 日開催の「島田市暮らし・消費・環境展 2014」に、「市民のみなさん、もう一度生ごみのことを考えてみませんか」というテーマで説明看板を設置し、ごみの減量化・堆肥化を訴えました。また、島田市ゆめ・みらい百人会議と共催して「島田市内で小水力発電を創出しよう」を訴求しました。

ブースの大看板



- ②平成 26 年 10 月 11 日の島田市社会福祉協議会が主催の「ふれあい広場」に出展し、休耕田で市民有志が栽培・収穫した枝豆を市民に斡旋しました。
- ③平成 27 年 2 月 1 日の島田市の循環型社会を考える会が主催の「パネル・ディスカッション」に参加し、市民環境活動の紹介をしました。



ふれあい広場



パネル・ディスカッション

- ④「e コミしまだ」にブログ、「しまだ環境ひろばの日記」を開設し、国・県市の環境イベント情報、環境関連ニュース、各種環境関連情報（自然保全・エネルギー・地球温暖化・ごみ・環境教育）や自団体の活動紹介などの様々な情報を毎日更新して発信しています。
- ⑤「島田市地域交流センター歩歩路」の掲示板に環境情報を掲示しています。
- ⑥イベントや行事などの案内チラシを発行して公共施設への掲示や関係先へ発信しています。



歩歩路の掲示板



案内チラシ

◎活動名 しまだ環境ひろば塾の開催

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、平成 15 年の創立以来、市から「市民環境教育事業」の委託を受け、平成 24 年度以降は独自の「しまだ環境ひろば塾」に衣替えし、毎年開催を続けています。平成 26 年度の主な活動は、以下のとおりです。

平成 26 年度 しまだ環境ひろば塾 開催実績一覧表								
区分	テーマ名	目的(狙い)	出席者	講師	開催日	開催場所	参加人員	プログラム・実施内容
水とみどり分野	秋の県民森づくり大作戦 「里山の再生活動に参加しよう」	伊太地区 八幡様前の竹林を整備して、樹種転換を実施中である。果樹や広葉樹への施肥と管理道の整備など森の再生活動を実践し里山を大事にする気持ちを醸成する。	一般市民 伊太 やらざあ会	しまだ環境ひろば 伊太・やらざあ会	平成 26 年 10 月 26 日 (日)	伊太 八幡様西 竹林	一般市民 12 名 ひろば 4 名 計 16 名	今回は、7 年前に建てた「作業小屋」の修復をする為準備作業を行った。 (1) 孟宗竹の伐採 (2) 竹割り (3) 竹を作業小屋まで運搬 小屋の修復は、12 月までに終了した。
	一伊太・釜ヶ沢公園周辺整備事業一 「森と道づくりに参加しよう」	国土の 2/3 は、森林です。森林は、私たちの生活の源です。その中で里山も重要な機能を果たしており、これを整備をしながら自然環境の意識を考えて行く。	一般市民 伊太 やらざあ会	しまだ環境ひろば 伊太・やらざあ会	平成 27 年 2 月 22 日 (日)	伊太八倉町 公会堂横の森	一般市民 10 名 ひろば 7 名 計 17 名	今回は、森の中に作った散策道の階段の修復と丸太橋修復のための丸太の切り出しを行なった。階段の修復は完了、丸太橋は継続して修復の予定

食生活分野	「新春 味噌の手づくり体験会に参加しよう NO.1」	日本の穀物自給率は23%、もっと自給率を上げて行かなければならない。 しまだ環境ひろばでは、休耕田を利用して、農業を一切使わないで大豆を栽培・収穫しています。一般市民や保育園の園児たちに大豆畑を農業体験の体験場所として提供し、農業の大切さや大豆の栄養価の高さや、地産地消を教えています。そして収穫した大豆を使って、安心・安全な味噌を手づくりして、日本の伝統食を実践・継承しています。	一般市民	東光寺 園田農園 園田巴義さん しまだ環境ひろば	平成27年 1月10日 (土)	東光寺 園田農園	一般市民 7名 ひろば 3名 計10名	前日は、豆洗いと浸し作業当日は朝早くから釜戸への火入れを行い、豆が指で軽く押さえてつぶれる程度まで煮込み、塩と麴と豆を混ぜてミンチ状にしてカメに仕込んで終了。 講師の園田さんの指導で、伝統食の手づくり味噌を作り、地産地消を実践した。 材料費(10kg) 保険料込み600円/1kg	
	「新春 味噌の手づくり体験会に参加しよう NO.2」				平成27年 1月15日 (木)		一般市民 9名 ひろば 1名 計10名		
	「新春 味噌の手づくり体験会に参加しよう NO.3」				平成27年 1月24日 (土)		一般市民 8名 ひろば 1名 計9名		
	「大豆の苗を植えましょう」	環境教育は、園児の時代から教え込むことが必要です。大豆の苗を植えながら、無農薬栽培の大切さや、大豆の栄養価の高さを教える。	保育園 園児	しまだ環境ひろば	平成26年 7月15日 (火)	コミュニティ 農園 第一保育園 園児	児童他 34名 ひろば 3名 計37名		大豆の苗を植えながら、大豆の知識を学びました。
	「枝豆の収穫をしよう」	7月に植えた大豆の苗が大きくなり、大豆がたわに実りました。園児たちに収穫体験をさせて、農業の大変さ、大豆の栄養価の高さなどを教えます。	保育園 園児	しまだ環境ひろば	平成26年 10月9日 (木)	コミュニティ 農園 第一保育園 園児	児童他 27名 ひろば 4名 計31名		大豆を刈り取りながら、大豆の知識を学びました。園児たちは枝豆を持ち帰りました。
エネルギー分野	第4回「しまだエコの郷と大井川用水の見学会」	東電の原発事故以来、自然エネルギーが注目を浴びています。島田市は、大井川用水が市内を流れていますが、この小水力利用の手立てはないか、市民と視察研究する。今回は行程に、平成25年7月から始動した、「伊太小水力発電所視察」を加え発電の仕組みも勉強する。	一般市民	しまだ環境ひろば 大井川土地改良区	平成26年 6月27日 (金)	市内河川	一般市民 15名 ひろば 4名 計19名	島田市の大井川用水を遊んで視察しながらその機能や、新エネルギーの創出の可能性を探った。 保険料・資料費200円	



10月 枝豆の収穫



10月26日 里山再生活動



1月 手づくり味噌体験

◎活動名 生ごみ堆肥化の普及活動と生ごみ分別収集の調査研究

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、御飯屋市民農園にて「さんさん BOX 方式」で、生ごみや雑草による堆肥化にトライしています。さんさん BOX 方式は、箱の中に一定量の床材(落ち葉、もみ殻、ぬかで作ったもの)を用意し、その中に毎日生ごみを混ぜて、一次発酵させ、更に二次発酵させて良質な堆肥を作り、燃えるごみの減量化・資源化を図ろうとしています。できた二次発酵堆肥は、会員の畑で使用しています。



床材を入れた中へ生ごみを投入して一次発酵



一次発酵堆肥と床材を混ぜ二次発酵

◎活動名 生ごみ堆肥化方法の実証実験と検証

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、市民が取り組みやすい生ごみの資源化を提案するために、生ごみの堆肥化システムの実証実験を行いました。平成 26 年度は、5つの方法を検証しました。結果については以下のとおりです。

生ごみ堆肥化実証実験 方式別評価 最終報告書

実験名称	①準備・操作性 など評価	②温度上昇	③臭い	④うじ虫	⑤堆肥づくり	⑥ごみの 減量効果	⑦終了後の処理・評価	評価
さんさん BOX	<ul style="list-style-type: none"> ■床材づくりに手間がかかる。 ■床材を一回セットすれば何回も生ごみを投入できる。(赤玉土 298 円/一回) ■操作が簡単である。 ■投入前に水切りの必要がある。 	高く上がる 少し上がる 変わらない	大変臭う 少し臭う 臭わない	大変多い やや多い 少ない 全くない	向いている やや向いていない 全く向いていない	大 普通 小	<ul style="list-style-type: none"> ■2次発酵が必要 ■2次発酵には3ヶ月以上必要で場所や床材・器材が必要 ■堆肥がほしい人には向いているが、手間・時間がかかる。 	○
キエーロ	<ul style="list-style-type: none"> ■黒土を一回セットすれば何回も省ごみを投入できる。(黒土：1,112 円/一回) ■操作が簡単である。 ■投入前の水切りは不要。 	高く上がる 少し上がる 変わらない	大変臭う 少し臭う 臭わない	大変多い やや多い 少ない 全くない	向いている やや向いていない 全く向いていない	大 普通 小	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみが消滅、堆肥の不要な人には向いている。ケースが高い。 ■残土の成分・養分が未確定 ■2次発酵の要否も未確定 	◎
ピートモス	<ul style="list-style-type: none"> ■床材を一回セットすれば何回も生ごみを投入できる。(床材：600 円/一回) ■操作が簡単である。 ■投入前に水は切った方がよい。 	高く上がる 少し上がる 変わらない	大変臭う 少し臭う 臭わない	大変多い やや多い 少ない 全くない	向いている やや向いていない 全く向いていない	大 普通 小	<ul style="list-style-type: none"> ■2次発酵は必要(但し別の箱に保管程度でよい。) ■堆肥のほしい人向き。 	◎
グン太君	<ul style="list-style-type: none"> ■床材の調製に若干の手間はかかる。 ■生ごみの投入毎、床材と混ぜて袋詰めが必要がある。(基材：約 700 円/月) ■投入前の水切りの必要はない。 	高く上がる 少し上がる 変わらない	大変臭う 少し臭う 臭わない	大変多い やや多い 少ない 全くない	向いている やや向いていない 全く向いていない	大 普通 小	<ul style="list-style-type: none"> ■1週間程度で堆肥になる。 ■専用のケースが高い。(要検討) ■2次発酵も必要ない。(別の箱に保管程度でよい。) ■沢山堆肥をほしい人向き。 	◎
剪定枝堆肥	<ul style="list-style-type: none"> ■床材として、剪定枝堆肥+生ごみ堆肥(5対5)ブレンドして用意し、生ごみの投入を始めたが、虫の多量発生で断念。 ■剪定枝堆肥のみで再トライも断念。 	高く上がる 少し上がる 変わらない	大変臭う 少し臭う 臭わない	大変多い やや多い 少ない 全くない	向いている やや向いていない 全く向いていない	大 普通 小	<ul style="list-style-type: none"> ■大量のウジが発生、一般家庭では実行不可 	
5つの実験 を総合して の評価	<p>実験の目的</p> <p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■生ごみを家庭で自家処理(堆肥化)することは、溶融炉での焼却量を減量し、燃料費やCO₂の削減に貢献できる。従って、どんな方法でも焼却量の削減には貢献しているが、その中でも、市民が手軽にトライでき、良質な堆肥ができる方式を見つけ出すことが今回の目的である。 ■堆肥を必要としない市民には、生ごみが消滅し、集合住宅のベランダなどでも設置できる、「キエーロ方式」が最適である。 ■堆肥を必要とする市民には、手軽に良質な堆肥ができる、「グン太君方式」や「ピートモス方式」が最適である。 ■少し手間はかかるが、肥料成分が高く、堆肥の量が確保できる「さんさんBOX方式」も推奨できる。 ■今回の実験結果で4つの方式を推奨し、市民に選択して頂き、一人でも多くのごみの自家処理市民を増やし、ごみの減量化を目指したい。 						

◎活動名 環境保全活動の進行管理の推進

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、「第1次島田市環境基本計画」の策定時に集まった「市民環境百人会議」を母体として結成された団体なので、市の進行管理に協力をして自団体の活動報告書を市に毎年提出すると共に、自団体内でも進行管理は大事な事業として運営管理しています。平成26年度の主な活動は以下のとおりです。

①平成26年4月26日 通常総会の開催

平成25年度事業別活動実績報告・決算報告及び平成26年度の事業計画・予算計画の審議・決定をした。

②隔月第一金曜日 定例会の開催

事業担当者が報告・連絡・相談をして翌月からの活動計画を立て、PDCAサイクルを活用しながら実施した。

③その他

市主催の「地産地消推進連絡会」、「学校給食地産地消推進連絡会」や島田市の循環型社会を考える会が主催の「環境活動と協働に関するパネル・ディスカッション」、自団体の「しまだ環境ひろば塾」の中で、自団体の活動や進行管理を紹介・説明をした。



平成26年度 通常総会



活動計画・議案書など

大鐘測量設計株式会社

◎活動名 伊太谷川清掃活動

●活動実績

平成26年度の活動は、伊太谷川の清掃活動を4回実施しました。燃えるごみ、空き缶やペットボトルなど多くのごみが回収されました。活動結果は、下記のとおりです。

伊太谷川清掃活動			
日時	場所	参加人数	ごみの回収量
H26.4.4	静居寺大橋～静居寺橋（約300m）	16人	燃えるごみ 7kg 空き缶 1kg
H26.5.20	静居寺橋～菰川橋（約400m）	19人	燃えるごみ 6kg 空き缶 0.5kg
H26.9.26	静居寺橋～菰川橋（約400m）	15人	燃えるごみ 4kg 空き缶 0.5kg
H26.11.21	菰川橋～伊太谷川橋（約300m）	12人	燃えるごみ 7.5kg 空き缶 1kg ペットボトル等 2.4kg



清掃活動①



清掃活動②



参加者と回収されたごみ



河原に咲くムシトリナデシコ

NPO法人 しろやまゆいの会

◎活動名 地域の自然環境の保持と住民の生活向上

●活動実績

しろやまゆいの会では、自然環境の保持や地域住民の健康で文化的な生活の向上を目指して、活力ある地域づくりに寄与することを目的として活動しています。平成 26 年度は、下記のとおり7つの事業を実施しました。

平成 26 年度 事業報告書				
事業名	事業内容	実施日	従事者人数	実施場所
自然とのふれあい事業	湯日っ子の森草刈り	7/2、12/6	48	空港アクセス道路法面
	湯日っ子の森植樹	2/28	2	
	太陽光発電所内芝桜等植付け	3/12、3/14	38	
文化の伝承事業	炭焼き体験イベント	11/11、2/21	15	炭焼き窯
自然保護事業	下草刈り	11/22、12/14	32	長間谷
	間伐	1/19、1/20、 1/21、1/26	35	
	シャクナゲ植付け	3/29	4	
	草刈り、片付け、 除草剤散布	5/30、6/1、 7/19、7/20、 9/7、9/9、 9/18、9/20、 11/6	121	養勝寺川
	草刈り	11/6	8	空港アクセス道路沿い
	草搬出	12/19、12/20	9	柿の木沢
	竹林整備、竹林間伐	1/11、1/16、 2/13	15	原の平吹木線沿い
	草刈り	5/13	5	湯日小校庭
	芝桜苗作り、薬剤散布	10/14、10/26	10	空港アクセス道路沿い

しろやま公園活用事業	七夕祭りイベント	8/3	23	しろやま公園
しろやま公園管理事業	芝刈り、施肥	H26.5 ~ H27.3	20	しろやま公園
しろやま公園整備事業	公園内石積、アカシア・ムクゲ等植付け	2/15、3/13	10	しろやま公園
他団体への支援事業	高齢者福祉活動 花壇等の管理			

大津谷川を愛する会

◎活動名 大津谷川の清掃活動

●活動実績

大津谷川を愛する会では、毎年3月の第2日曜日に大津谷川と伊太谷川の合流地点より上流部の大津谷川の清掃活動を実施しています。平成26年度につきましても、河川内に入り込み、多くのごみを回収しました。

活動日：平成27年3月8日（日曜日） 参加者：160名

回収されたごみ：軽トラック9台分



清掃活動の様子



回収されたごみ

水と里山を守る会

◎活動名 水と里山を守る会（水源林と里山整備）

●活動実績

市街地周辺の中山間部や農家の裏山では、茶畑などが耕作放棄され続け竹林に遷移しており、手の入らなくなり荒廃したスギ・ヒノキ林に侵入し枯死させて一帯を大きく変貌させています。水と里山を守る会では、荒廃竹林の伐採、破碎チップの堆肥化や荒廃が著しい里山の再生、荒廃里山樹林森の整備を行っています。平成26年度につきましても、下記のとおり17件の活動を実施しました。

平成26年度 活動実績				
活動内容	実施日	回数	活動場所	備考
荒廃整備・竹林間伐、再竹林化の抑制整備、混交林化促進（樹種の転換への育苗）	6/18、11/14、11/15、11/28、11/29	5	上野田菅ヶ谷池周辺竹林帯	間伐、破碎機によるチップ化、再生作業・育苗
里山整備、荒廃耕作放棄地整備、里地・里山整備・再生、育苗	9/12、9/30、10/7	3	大草釣耕苑下荒廃耕作放棄地里地・里山整備・再生、育苗	里山整備・再生雑木伐採、育苗、周辺の里山樹林の手入れ

荒廃整備・竹林皆伐、混交林化促進、スギ・ヒノキ間伐整備	1/29、2/21	2	釣耕苑周辺荒廃山林・里山の整備・再生	周辺の山の森林整備と下刈り、除伐、スギ・ヒノキ間伐整備
里山整備、荒廃耕作放棄地整備、里地・里山整備・再生、育苗、	4/24、7/14、7/15、8/9、8/18、8/20	6	菅ヶ谷池周辺竹林帯耕作放棄地整備	竹林伐採跡地、放棄茶畑跡地客土耕耘ソバ栽培
県民森づくり大作戦	11/15(11/14)	1	上野田菅ヶ谷池横荒廃地整備	森づくり大作戦、竹伐採、荒廃跡地ソバ刈りハンデ干し
合計回数		17		

①荒廃し耕作放棄した里山・里地整備の様子（4/24・7/14・7/15・8/9・8/18・8/20）

背丈ほどの雑草を刈り、柳の木を抜去し、雑草の根の残った荒地を何度となく耕し、苗木の育苗や観賞用草花の移植などを実施した。



②大津なごみ団地北および菅ヶ谷池周辺竹林帯荒廃竹林整備の様子（8/18・11/14・11/15・11/28・11/29）



③荒廃し耕作放棄した里山・里地整備（釣耕苑下里山（大草地区））（9/12・9/30・10/7）

背丈ほどの雑草を刈り、柳の木を抜去し、雑草の根の残った荒地を何度となく耕し、苗木の育苗や観賞用草花の移植などを実施した。また、他県からの視察の受け入れも実施した。



④秋の森づくり県民大作戦（11/15）

ソバ刈り収穫体験を行い、荒廃里山から伐採した竹でハンデ干しを実施した。また、会員のそば打ち名人の3人が自家製そばを体験者にご馳走した。



⑤荒廃スギ・ヒノキ林間伐整備作業（H27 1/29・2/21）



ふるさとの森

◎活動名 森のクラフト

●活動実績

ふるさとの森では、自然素材である地元の木材を利用して、動物の置物等を作成する木工工作を行う「森のクラフト」を実施しています。子どもから高齢者まで、自分で木を切り、形を工夫して作成をします。その中で森林の話や自然とのふれあいを通じて自然環境について広めています。平成 26 年度につきましても、様々な場所に出向き開催しました。

平成 26 年度 活動実績	
実施月	活動場所
4月	静岡市沼上清掃工場
7月	金谷東町ふれあいいずみ
8月	金谷公民館
9月	静岡市沼上清掃工場
10月	島田市暮らし・消費・環境展 2014
11月	金谷公民館



森のクラフトの様子

御林守河村家を守る会

◎活動名 文化財周辺風景の維持管理

●活動実績

御林守河村家を守る会では、市の指定文化財である「河村家住宅」周辺風景の維持管理をしています。草刈り・草取り・剪定・溝さらい・竹伐採等を実施して、多くの方に見学してもらえるようにしています。平成26年度につきましても、草刈り等を実施しました。

平成26年度 活動実績	
実施日	活動場所
H26.6.19 H26.12.3	草刈り
H26.8.18	建造物修理
H26.12.29	「河村家住宅」庭の剪定
H26 7月・12月	草取り
H26 10月～1月	梅園の剪定
H27 2月	ホテルの里復活のための研修



島田市指定文化財「河村家住宅」

JA大井川女性部島田ブロック

◎活動名 環境美化ごみ拾い運動

●活動実績

JA大井川女性部島田ブロックでは、年に1回大井川河川敷にて、農家の田畑を潤してくれる大井川に感謝の気持ちを込めて美化活動を行っています。平成26年度も大勢の方にご参加いただき実施しました。

活動日：平成26年9月6日（土曜日） 参加人数：80人



活動の様子①



活動の様子②



活動の様子③



活動の様子④

NPO法人 里山仕事・しょんた塾

◎活動名 里山整備

●活動実績

里山仕事・しょんた塾では、しょんた（塩ノ田）をはじめとする価値ある里山景観の復元などの環境保全活動のボランティア活動をしています。活動内容は、諏訪原城跡の整備を市の文化課と連携して行うなど、様々な活動を進めています。平成 26 年度につきましても、以下のとおり活動を実施しました。

平成 26 年度 活動実績
活動内容
①諏訪原城跡の整備 (文化課との連携活動)
②石畳坂の環境整備
③「森の力再生事業」への参加で、人工林の間伐・竹林の皆伐
④「森林・山村・多面的機能発揮対策事業」への参加で、諏訪原城跡の整備実施
⑤牧之原・カタクリの里の笹刈り整備他 (野の花の会との共同)
⑥神谷城・塩ノ田の草刈り・農地利用



活動の様子

特定非営利活動団体 里山どんぐりの会

◎活動名 里山（人工林・雑木林）育成

●活動実績

里山どんぐりの会では、杉桧の混合林の環境伐、侵入竹林の皆伐や照葉樹を中心とした植樹をしています。活動は年間を通して週3日、1日6名程度による作業です。平成 26 年度につきましても、以下のとおり活動を実施しました。

平成 26 年度 活動実績
1. 杉桧混合林の環境伐（約 45%）
2. 伐倒木は土止めとして水平に設置、路側材や杭にも利用
3. 混合林や雑木林に侵入した竹の皆伐
4. 作業に付随した歩き道の造成（約 800m）
5. 作業路をハイキングコースとして整備
6. 作業路に沿って照葉樹の植樹（花や実のなる樹種）

◎活動名 自然活動事業を通じ子供の健全育成を図る

●活動実績

里山どんぐりの会では、親子などで里山と親しむ場を設けて自然活動事業を行い、里山の整備や植樹などを多くの方に体験の場を提供しています。平成 26 年度につきましても、春と秋に親子で行う活動を実施しました。

平成 26 年度 活動実績				
イベント名	実施日	場所	参加者	活動内容
「春の里山イベント」 ～タケノコ掘り～	4月19日	大草	小学生を連れた親子など70名	竹の伐倒体験、タケノコ掘り、タケノコ調理法の学習
「秋の里山イベント」 ～植樹とハイキングコース整備～	10月18日	野田	親子など17名	山桜と牛乳パックで育てたカシの苗木を植樹、2年前に造成した作業路転用ハイキングコースの案内板を補修整備

しまだ次世代育成支援ネットワーク

◎活動名 もったいないをプレゼント

●活動実績

しまだ次世代育成支援ネットワークでは、毎年1回「地域の子育ては地域のみんで応援しよう」のメッセージを込めて、使わなくなった子ども用品を必要としている家族へプレゼントをする活動を実施しています。平成 26 年度も下記のとおり開催し、約 200 人が来場しました。

活動日：平成 26 年 8 月 3 日（日曜日） 参加者：約 200 名

協力（広報など）：(株)まちづくり島田、(福)島田市社会福祉協議会、市広報課



品物陳列作業の様子



おもちゃ類



衣類



絵本類